

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個02事03

政策名	1 グローバルロジスティクスの港		24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 港湾利用高度化担当 課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化		事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	052-654-7964 港営課
個別施策名	02 既存コンテナ機能を再編・強化する						
事務事業名	03 飛島ふ頭におけるゲート機能集約の事業化		継続	維持	維持		
目的	飛島ふ頭におけるゲート機能集約の取組方針を確立し、事業化につなげます。					事業 期間	平成20~25年度 ※「その他特記事項」
概要	コンテナターミナルの更なる効率化を図るため、飛島ふ頭におけるゲート機能集約について関係者との調整を行います。					根拠 法令等	
						実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	集中管理ゲートモデル事業の有効性及び効率性などの効果の検証を図るため、関係者と調整を行います。					関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	名古屋港飛島ふ頭物流効率化検討委員会に関係者として参画し、集中管理ゲートの整備効果や運用上の課題、交通シミュレーションモデルを構築し周辺道路への影響把握とその対策等について検討を行いました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	0	0	523	0	0	523	(款項目節)
一般会計	千円	0	0	74	0	0	74	(算出計算式)
事業会計 埋立事業会計	千円			449			449	(その他)
その他	千円							
人員費 計	千円	13,731	8,481	5,172	3,787	3,776	34,947	
正規職員	人	1.60	1.00	0.60	0.30	0.30		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.30	0.30		
合計	千円	13,731	8,481	5,695	3,787	3,776	35,470	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	最終目標	25	備考(指標の算定方法など)
検討会・作業部会の回数(回)	目標	5	5	6	5	4		-	集中管理ゲートWG2回 名古屋港飛島ふ頭物流効率化 検討委員会2回 計4回
	実績	6	7	3	4	4			
	達成率(単年度%)	120.0	140.0	50.0	80.0	100.0			
ゲート機能集約の事業化(式)	目標	-	-	-	-	-		1	
	実績	0	0	0	0	0			
	達成率(単年度%)	-	-	-	-	-			
平成25年度までを総括した 必要性・有効性・効率性の確認	判断理由 (課題の抽出)							その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □	集中管理ゲートは国のモデル事業として効果の検証を行う必要があり、ゲート業務の平準化や処理能力の向上、渋滞解消等の効果が期待されています。					※目標年度は、集中管理ゲートの整備完了年度まででしたが、平成22年度に全額国費で施設が整備され、平成23年度から3年間効果の検証を行うことになったため、事業化の目標年度を平成24年度から平成25年度に修正変更しました。(平成23年度行政評価)また、効果の検証期間について、平成25年度末までから平成26年度末までに1年間延長しました。	
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □	現在、搬入貨物のターミナル利用に係る時間信頼性が向上したとの結果を受けており、効果の検証について港湾管理者として関与する必要性は高いと考えます。						
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □	集中管理ゲートの事業化には、ゲート機能集約の取り組み方針の確立が必要であり、関係者間での調整を行うことで、課題解決に貢献するものと考えます。						
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □	モデル事業の事業スキームは適正であり、関係者間の調整や検討を行うワーキングや委員会(事務局:国)を活用しているため、経済的と考えます。本組合としても積極的に効果の検証に関与する必要があると考えます。						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/> □							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	延伸	➡	➡	平成23年から国のモデル事業として、集中管理ゲートの整備・運用がされていますが、引き続き、事業の有効性及び効率性などの効果の検証を十分に図る必要があるため。(H25→H26に延伸)
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				

国・港湾関係者と連携し、引き続き集中管理ゲートの有効性、効率性等の効果の検証を行います。